専門基礎分野　23 単位（585 時間）

＜ねらい＞

1. 人体の構造と機能、疾病の成り立ちと生体に現れる変化、健康回復のメカニズムを系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、臨床判断能力を身につける。
2. 人々が健康課題に応じた生活を営むための社会資源を学び、看護専門職として生活者の視点で多職種と連携･協働するための基礎的能力を養う。

教育内容	授業科目	単位・時間数
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1 単位　30 時間
	解剖生理学Ⅱ	1 単位　30 時間
	解剖生理学Ⅲ	1 単位　30 時間
	解剖生理学Ⅳ	1 単位　30 時間
	生化学	1 単位　30 時間
疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1 単位　30 時間
	微生物学	1 単位　30 時間
	臨床薬理学	1 単位　30 時間
	栄養と食事療法	1 単位　15 時間
	病態生理学Ⅰ	1 単位　30 時間
	病態生理学Ⅱ	1 単位　15 時間
	病態生理学Ⅲ	1 単位　30 時間
	病態生理学Ⅳ	1 単位　30 時間
	疾病と治療	1 単位　30 時間
	臨床判断の基礎	1 単位　30 時間
	クリティカルシンキングと臨床判断の実践	1 単位　30 時間
	看護の生理学	1 単位　15 時間
健康支援と社会保障制度	社会保障と社会福祉Ⅰ	1 単位　15 時間
	社会保障と社会福祉Ⅱ	1 単位　15 時間
	公衆衛生学	1 単位　30 時間
	関係法規	1 単位　30 時間
	医療安全	1 単位　15 時間
	総合医療論	1 単位　15 時間

専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅰ	1年次前期　1単位30時間
科目担当責任者	賀佐　伸省		
科目目標 概　　要	人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握する。正常な人体の構造とその働きを知ることを基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1章　解剖生理学の基礎知識 1)体表から触知する人体の構造	講義	有	賀佐
2	2)人体の構造と区分（骨格と各筋組織の特性）	講義	無	賀佐
3	3)素材からみた人体　細胞膜の構造と機能	講義	無	賀佐
4	4)細胞の増殖と染色体細胞を構成する物質、 エネルギーの生成	講義	無	賀佐
5	5)機能から見た人体　各器官系の運動	講義	無	賀佐
6	3章　呼吸と血液のはたらき 1)呼吸器の構造	講義	無	賀佐
7	2)呼吸（呼吸メカニズム）	講義	無	賀佐
8	3)呼吸気量、ガス交換とガスの運搬	講義	無	賀佐
9	4)肺の循環と血流、呼吸運動の調節	講義	無	賀佐
10	5)呼吸器系の病態生理（異常呼吸型の特徴と病態の関連）	講義	無	賀佐
11	6)血液の組成と機能	講義	無	賀佐
12	7)赤血球、白血球、血小板の分類と機能	講義	無	賀佐
13	8)血液型（ABO式血液型、RH式血液型、交差適合試験）	講義	無	賀佐
14	4章　血液の循環とその調節 1)心臓の構造（心臓内の弁装置と血流） 2)心臓の血管と神経（冠状動脈静脈の分布）	講義	無	賀佐
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅱ	1年次前後期　1単位30時間
科目担当責任者	賀佐　伸省		
科目目標 概　　要	人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握する。正常な人体の構造とその働きを知ることを基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	4章　血液の循環とその調節 3)心臓の拍出機能（心電図）	講義	有	賀佐
2	4)心臓の収縮	講義	無	賀佐
3	5)血管の構造（動脈・毛細血管・静脈の構造と働きの特徴）	講義	無	賀佐
4	6)側副循環と吻合	講義	無	賀佐
5	7)肺循環の血管、体循環の動静脈（体循環の特徴的な動脈と静脈）	講義	無	賀佐
6	8)大脳動脈輪を直接構成する血管	講義	無	賀佐
7	9)血圧・血流量の調節（血圧の変化をもたらす液性因子）	講義	無	賀佐
8	10)リンパとリンパ管（リンパ管の分布と支配臓器）	講義	無	賀佐
9	2章　栄養の消化と吸収 1)口・咽頭・食道の構造と機能	講義	無	賀佐
10	2)胃・小腸の構造と機能	講義	無	賀佐
11	3)栄養素の消化と吸収　大腸の構造と機能	講義	無	賀佐
12	4)膵臓・肝臓（細胞組織と血流）・胆嚢の構造と機能	講義	無	賀佐
13	5)消化管ホルモンによる胃酸・膵液・胆汁の分泌	講義	無	賀佐
14	6)排便反射に関わる筋肉と神経	講義	無	賀佐
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅲ	1年次前後期　1単位30時間
科目担当責任者	賀佐　伸省		
科目目標 概　　要	人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握する。正常な人体の構造とその働きを知ることを基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	8章　情報の受容と処置 1)神経系の構造と機能	講義	無	賀佐
2	2)脊髄の構造と機能（神経細胞と支持細胞）	講義	無	賀佐
3	3)脳の構造と機能（脳幹の生命中枢）	講義	無	賀佐
4	4)脳神経の構造と機能	講義	無	賀佐
5	5)脳の高次機能（脳波の種類）	講義	無	賀佐
6	6)運動機能と下行伝導路（視覚伝導路と視覚障害）	講義	無	賀佐
7	7)感覚機能と上行伝導路	講義	無	賀佐
8	8)神経の障害と原因（アルツハイマー病など）	講義	無	賀佐
9	7章　身体の支持と運動 1)人体の骨格（骨の形態と構造）	講義	無	賀佐
10	2)各関節の特徴、関節の拮抗作用（外転と内転、屈曲と伸展）	講義	無	賀佐
11	3)骨の連結、体幹の骨格と筋	講義	無	賀佐
12	4)人体の骨格（上肢、下肢、頭頚部）	講義	無	賀佐
13	5)筋の収縮（骨格筋、平滑筋、心筋）	講義	無	賀佐
14	6)骨格筋収縮の種類と特性（等張性、等尺性、死後硬直）	講義	無	賀佐
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅳ	1年次前後期　1単位30時間
科目担当責任者	賀佐　伸省		
科目目標 概　　要	人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握する。正常な人体の構造とその働きを知ることを基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	9章　身体機能の防御と適応	講義	無	賀佐
2	1)皮膚の構造と機能	講義	無	賀佐
3	2)生体の防御機構	講義	無	賀佐
4	3)　体温とその調節	講義	無	賀佐
5	5章　体液の調節と尿の生成 1)腎臓の構造と機能	講義	無	賀佐
6	2)レニンーアンギオテンシン - アルドステロン系	講義	無	賀佐
7	3)尿の貯蔵と排尿	講義	無	賀佐
8	4)排尿路　5)体液の調節	講義	無	賀佐
9	10章　生殖・発生と老化のしくみ 1)男性生殖器　2)女性生殖器	講義	無	賀佐
10	3)受精と胎児の発生	講義	無	賀佐
11	4)成長と老化	講義	無	賀佐
12	6章　内臓機能の調節 1)自律神経による調節　2)内分泌系による調節	講義	無	賀佐
13	3)全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義	無	賀佐
14	4)ホルモン分泌の調節　5)ホルモンによる調節の実際	講義	無	賀佐
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・坂井建雄：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	生化学	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	有木　茂		
科目目標 概　　要	生命体は種々の生体物質によって有機的に構築されており、生命活動はそれらの物質が細胞レベルで秩序性と平衡性を持って機能することにより発現している。本講義では正常状態におけるこれらの物質の性質と機能を学ぶ。また、これらの物質の代謝を学ぶことにより、病態を正しく理解するための基盤となる知識を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	生化学の基礎知識	講義	有	有木
2	糖質の構造と機能	講義	有	有木
3	脂質の構造と機能	講義	有	有木
4	タンパク質の構造と機能	講義	有	有木
5	遺伝子と核酸・転写と翻訳	講義	有	有木
6	遺伝子の複製・修復・組換え	講義	有	有木
7	水・無機質・ホルモン	講義	有	有木
8	代謝の概要・酵素と補因子	講義	有	有木
9	糖質代謝（1）解糖系～電子伝達系	講義	有	有木
10	糖質代謝（2）グリコーゲン代謝・糖新生・ペントースリン酸経路	講義	有	有木
11	脂質代謝	講義	有	有木
12	タンパク質代謝	講義	有	有木
13	核酸代謝、ポルフィリン代謝	講義	有	有木
14	総合学習　～代謝マップを完成させよう～	講義	有	有木
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験とレポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・三輪一智：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[2]生化学[電子版], 医学書院.

専門基礎分野	授業科目	病理学	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	安彦　善裕		
科目目標 概　　要	1. 人間の組織・細胞変化を理解する 2. 人間の細胞・組織の病的変化を学び、健康回復のために必要な知識を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	病理学で学ぶこと　1)看護と病理学	講義	無	安彦
2	病理学で学ぶこと　2)病気の原因	講義	無	安彦
3	循環障害 1)充血とうっ血　2)出血と止血　3)血栓症	講義	有	安彦
4	4)塞栓症　5)虚血と梗塞　6)ショック	講義	有	安彦
5	代謝障害 1)脂質代謝障害 2)タンパク質代謝障害	講義	有	安彦
6	3)糖質代謝異常 4)その他の代謝障害	講義	有	安彦
7	細胞・組織の損傷と修復、炎症 1)細胞・組織の損傷と適応	講義	有	安彦
8	2)細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症 3)炎症の分類と治療	講義	有	安彦
9	免疫、移植と再生医療 1)免疫と免疫不全、HIV 2)アレルギーと自己免疫疾患、橋本病	講義	有	安彦
10	3)移植と再生医療	講義	有	安彦
11	腫瘍 1)悪性腫瘍の広がりと影響 2)腫瘍発生の病理・老化	講義	有	安彦
12	3)腫瘍の診断と治療	講義	有	安彦
13	先天異常と遺伝性疾患 1)遺伝の生物学 2)先天異常	講義	有	安彦
14	3)遺伝子の異常と疾患 4)診断と治療	講義	有	安彦
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・大橋健一：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進［1］病理学[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	微生物学	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	横田　伸一		
科目目標 概　　要	感染症の原因となる、病原微生物あるいは感染性原体の性状、感染経路等を理解することによって微生物と生体との関わりを学ぶ。さらに、感染症への対応、院内感染の予防方法等について理解するとともに治療法の基礎を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. ヒトと感染症	講義	有	横田
2	2. 感染・感染症の機構と種類 1)感染の機構（しくみ） 2) 感染症の種類	講義	有	横田
3	3)感染症の現状　4)感染症の検査・診断・治療の概要	講義	有	横田
4	3. 免疫と生体防御機構 1)免疫・生体防御の機構 2)医療における免疫の利用	講義	有	横田
5	3)移植・輸血と免疫 4)免疫病（免疫異常）	講義	有	横田
6	4. 感染症の予防と感染制御対策・技術 1)感染予防の考え方	講義	有	横田
7	2)滅菌と消毒	講義	有	横田
8	3)予防接種	講義	有	横田
9	4)院内感染予防対策	講義	有	横田
10	5)法律による感染症対策 6)感染症の疫学と監視体制	講義	有	横田
11	細菌学各論Ⅰ細菌感染症 1)細菌の形態、構造の分類 細菌学各論Ⅱ細菌感染症 1)診断の検査　2)治療と予防	講義	有	横田
12	細菌学各論Ⅲ 1)黄色ブドウ球菌、インフルエンザ菌など	講義	有	横田
13	ウイルス学各論Ⅰ　1)ウイルスの形態･構造と分類	講義	有	横田
14	ウイルス学各論Ⅱ　1)主な病原ウイルスの疾患 真菌感染症	講義	有	横田
15	試験			

〈　評　　価　〉　筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

. 藤本秀士編著：わかる！身につく！病原体・感染・免疫, 改訂3版, 東京, 南山堂, 2017.
参考書：図解 微生物学・感染症・化学療法, 南山堂, 2014.

専門基礎分野	授業科目	臨床薬理学	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	竹内　里哉　　渡邊　康太		
科目目標 概　　要	薬物療法を理解するために必要な薬物の作用や副作用、投与するときの注意点など基礎的な薬理学について理解する。各疾病に使用される薬について、安全で効果的な薬の投薬を理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.薬物療法の基礎知識 1)薬物の使用目的 2)看護業務に必要な薬の知識と安全管理	講義	有	薬剤師
2	2.薬理学（薬力学・薬物動態学）	講義	有	薬剤師
3	3.相互作用、個人差、法律、薬効に影響する因子、 薬物使用の有益性と危険性	講義	有	薬剤師
4	4. 対象療法薬の臨床薬理学 1)解熱鎮痛薬	講義	有	薬剤師
5	2)制吐薬　　3)便秘･下痢治療薬	講義	有	薬剤師
6	4)鎮静薬　　5)睡眠薬	講義	有	薬剤師
7	5. 主要疾患の臨床薬理学 1)高血圧症　2)糖尿病　3)慢性腎臓病(CKD)	講義	有	薬剤師
8	4)急性冠症候群　5)心不全	講義	有	薬剤師
9	6)不整脈　　7)抗血小板・抗凝固療法　　8) 脂質異常症	講義	有	薬剤師
10	9)気管支喘息 10)慢性閉塞性疾患(COPD) 鎮咳･去痰薬	講義	有	薬剤師
11	11)胃･十二指腸潰瘍　　12)慢性肝炎	講義	有	薬剤師
12	13)抗感染症薬	講義	有	薬剤師
13	14)パーキンソン病　　15)骨粗しょう症 16)関節リウマチ	講義	有	薬剤師
14	6.特定の行為に関する臨床薬理学 1)インスリン投与量の調整 2)感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与	講義	有	薬剤師
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験

〈　テキストおよび参考文献　〉

・井上智子他：系統看護学講座 別巻 臨床薬理学[電子版],医学書院.

・吉岡充弘：系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進[3]薬理学 [電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	栄養と食事療法	1年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	工藤　裕司		
科目目標 概　　要	栄養の基礎的知識をふまえ、各種栄養素、栄養状態の評価、臨床栄養としての食事療法を理解し、看護師として食に関する問題の把握・解決するための基礎的知識を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	栄養学と看護	講義	有	工藤
2	栄養状態の評価･判定	講義	有	工藤
3	栄養素の種類と働き	講義	有	工藤
4	栄養素の消化･吸収･代謝	講義	有	工藤
5	栄養ケアマネジメント(スクリーニング・アセスメントプラン)	講義	有	工藤
6	ライフステージと栄養（乳児･幼児･学童･青年･成人）	講義	有	工藤
7	病人食の特徴と種類・栄養食事療法	講義	有	工藤
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験・出席状況･授業態度などを総合して評価する

〈　テキスト　〉

･中村丁次：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[3] 栄養学, 第13版, 東京, 医学書院, 288p, 2023.

〈　参考文献　〉

･日本糖尿病学会偏･著：糖尿病食事療法のための食品交換表, 東京, 文光堂第7版, 122p, 2013.

専門基礎分野	授業科目	病態生理学Ⅰ	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	吉田　行範　　横田　良一　　新崎　人士		
科目目標 概　　要	主な疾病の誘因・原因･症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 内分泌・代謝系 1) 内分泌疾患の病態（肥満症ほか）	講義	無	吉田
2	脂質異常症・高尿酸血症・痛風	講義	無	吉田
3	2) 検査（糖負荷試験・インスリン）	講義	無	吉田
4	3) 治療（糖尿病経口薬・食事・運動）	講義	有	吉田
5	2. 消化器系 1) 消化器の疾患の病態（上部消化管疾患の病態）	講義	有	横田
6	2) 下部消化管疾患の病態・肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態	講義	有	横田
7	3) 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態 ①炎症性疾患（肝炎、胆管炎、膵炎） ②肝硬変　③腫瘍（肝癌、胆膵臓癌）	講義	有	横田
8	4) 検査（上部・下部消化管内視鏡ほか）	講義	有	横田
9	5) 治療（人工肛門造設）	講義	有	横田
10	3. 血液疾患系 1) 血液・造血器の疾患の病態	講義	有	新崎
11	①貧血　②骨髄異形成症候群　③白血球減少症	講義	有	新崎
12	2) 出血性疾患	講義	有	新崎
13	3) 腫瘍	講義	有	新崎
14	4. 放射線療法 1) 画像診断 2) 放射線障害と防護	講義	有	坪田
15	試験			

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、内分泌・代謝系3割、消化器系4割、血液疾患系3割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・吉岡成人：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6]内分泌・代謝[電子版], 医学書院.

・松田明子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5]消化器[電子版], 医学書院.

・飯野京子：系統看護学講座　専門分野　成人看護学[4]血液･造血器[電子版], 医学書院.

専門基礎分野	授業科目	病態生理学Ⅱ	1年次前後期　1単位　15時間
科目担当責任者	宮野　須一　　國島　康晴		
科目目標 概　　要	主な疾病の誘因・原因･症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.骨・筋系 1)骨・関節の病態（骨折・骨粗しょう症他）	講義	有	整形外科医師
2	2)骨・関節の病態（腰痛症・炎症性疾患ほか）	講義	有	
3	3)検査・治療（ギプス・人工関節・四肢切断）	講義	有	
4	2.腎・泌尿器系 1)腎・泌尿器系の疾患の病態	講義	有	腎･泌尿器科医師
5	2)腎移植 3)急性・慢性腎不全 4)腎・尿管結石	講義	有	
6	5)腫瘍（腎・膀胱がん） 6)前立腺肥大 7)炎症性疾患　他	講義	有	
7	8)検査・治療（各検査・手術・治療方法について）	講義	有	
8	試験			

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、骨・筋系5割、腎・泌尿器系5割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･加藤光宝：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10]運動器[電子版],医学書院.

･阿部信一：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8]腎・泌尿器[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	病態生理学Ⅲ	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	平林　高之　　廣海　弘光　砂川市立病院脳神経内科医師		
科目目標 概　　要	主な疾病の誘因・原因･症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.呼吸器の疾患・病態	講義	有	廣海
2	1)炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎、気胸)	講義	有	廣海
3	2)気管支喘息　3)慢性閉塞性肺疾患	講義	有	廣海
4	4)肺結核　5)腫瘍(肺がん、中皮腫)	講義	有	廣海
5	2.呼吸器疾患の検査・治療 1)動脈血ガス分析　2)気管支鏡検査 3)胸腔穿刺　　4)肺穿刺	講義	有	廣海
6	3.循環器の疾患の病態 1)虚血性心疾患　　2)心筋症　　3)心不全	講義	有	循環器内科医師
7	4)心タンポナーデ　5)不整脈 6)炎症性疾患　7)弁膜症　他	講義	有	
8	4.循環器疾患の検査・治療 1)心電図　2)心臓カテーテル	講義	有	
9	3)治療（ＩＡＢＰ・ペースメーカー　他)	講義	有	
10	5.脳神経・中枢神経系の疾患の病態	講義	有	脳神経内科医師
11	1)脳血管障害　2)頭蓋内圧亢進症	講義	有	
12	3)頭部外傷　4)脳腫瘍	講義	有	
13	5)変性疾患(パーキンソン病、ＡＬＳ）　6)脱髄疾患	講義	有	
14	6.脳神経･中枢神経系疾患の検査・治療（各検査・手術・治療方法について)	講義	有	
15	試験			

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験から呼吸器系3.5割、循環器系3割、脳神経･中枢神経系3.5割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･吉田俊子：系統看護学講座 専門分野　成人看護学[3]循環器[電子版],医学書院.

･飯野京子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4]血液･造血器[電子版],医学書院.

･末岡浩：系統看護学講座　専門分野 成人看護学[3]女性生殖器[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	病態生理学Ⅳ	2年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	畠山　茂樹　　菊地　成佳　　山下　陽一郎		
科目目標 概　　要	主な疾病の誘因･原因・症状の理解を深め、治療･看護へ関連付けて理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.小児疾患の病態　1)小児消化器・内分泌疾患の病態 (1)口蓋裂　(2)肥厚性幽門狭窄症　(3)鎖肛 (4)腸重積　(5)胆道閉鎖症　(6)Ⅰ型糖尿病	講義	有	小児科医師
2	2)小児呼吸器･循環器疾患の病態 (1)クループ　(2)急性細気管支炎　(3)気管支喘息 (4)心房・心室中核欠損症　(5)動脈管開存症 (6)ファロー四徴症　(7)川崎病	講義	有	
3	3)小児神経・運動器疾患の病態、感染症 (1)痙攣性疾患　(2)脳性麻痺　(3)先天性疾患 (4)麻疹・風疹･水痘･耳下腺炎　(5)手足口病 (6)細菌性髄膜炎　(7) アデノウイルス感染	講義	有	
4	4)小児泌尿器疾患の病態 (1)急性糸球体腎炎　(2)ネフローゼ　(3)ループス腎炎	講義	有	
5	2.臨床検査　1)生体検査（生理機能検査・画像検査）	講義	有	臨床検査技師吉野
6	2)血液学的検査	講義	有	
7	3.女性生殖器疾患　1)乳腺の疾患（乳腺症、乳がん）	講義	有	馬場医師
8	2)子宮筋腫、子宮内膜症、腫瘍（子宮がん、卵巣がん）	講義	有	婦人科医師
9	3)生殖機能異常（不妊・不育症、月経異常、更年期障害）	講義	有	
10	4)炎症性疾患、性感染症、妊娠期の健康問題（流・早産）	講義	有	
11	4.精神疾患　1)統合失調症　2)気分（感情）障害	講義	有	精神科医師
12	3)器質性精神障害（ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ病、ﾚﾋﾞｰ小体型認知症他）	講義	有	
13	4)神経症性障害、ストレス関連障害	講義	有	
14	5)性別違和、性別不合など、心理的発達障害	講義	有	
15	試験			

〈　評　　価　〉各担当講師の筆記試験により、小児疾患3.5割、女性生殖器疾患3割、精神疾患3.5割を総合して評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

・奈良間美穂他:系統看護学講座専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論[電子版],医学書院.
・古瀬 信：系統看護学講座　別巻　臨床検査[電子版],医学書院.
・矢永勝彦他：系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論[電子版],医学書院.
・武井麻子他:系統看護学講座　専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	疾病と治療	3年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	雨森　英彦		
科目目標 概　　要	急激に生命を脅かす侵襲をうけた対象に対する生体反応を緩和し、現在の機能を最大限に高める援助を学ぶ。 事例を用いて、他職種の視点から知識を統合し、看護の役割を明確にする。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.クリティカルな患者の病態：生体反応 1)生体侵襲と神経系・内分泌系の反応、免疫系の反応	講義	有	雨森
2	2)手術による生体反応と管理 3)麻酔の効果と生体への影響	講義	有	雨森
3	2.呼吸機能障害 1)病態生理、アセスメント 2)急性呼吸不全患者の治療：人工呼吸器による呼吸管理	講義	有	雨森
4	3.循環機能障害 1)病態生理、アセスメント	講義	有	雨森
5	2)ショックの病態と診断･患者の治療 3)外傷・熱傷とショック	講義	有	雨森
6	4.クリティカルな状況における栄養・代謝機能障害のアセスメントと管理、栄養科ﾁｰﾑ(NST)の実際	講義	有	栄養士
7	5.集中治療室の特徴、急性・重症患者看護専門看護師の役割	講義	有	専門看護師
8	6.クリティカルなケアの対象となる患者および家族の特徴と必要な看護	講義	有	臨床心理士
9	事例：使用薬の薬理効果、多剤の害	講義	有	薬剤師
10	事例：言語聴覚士「言語訓練・嚥下訓練」	講義	有	言語聴覚士
11	事例：栄養士「食事の工夫、自助具」	講義	有	栄養士
12	事例：作業療法士「リハビリテーション」	講義	有	作業療法士
13	事例：医療ソーシャルワーカー「退院支援･退院調整」	講義	有	医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ
14	事例：模擬　多職種カンファレンス	演習	有	医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験・授業態度で評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

･道又元裕他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学[電子版],医学書院.

･矢永勝彦他：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論[電子版],医学書院.

･井上智子編集：系統看護学講座 別巻 臨床薬理学[電子版],医学書院.

･武田宜子他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	臨床判断の基礎	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	東條　奈穂		
科目目標 概　　要	看護実践の基盤となる系統的な観察の強化を目的に、臨床で遭遇する一般的な概念(病態)に関する知識を習得する 1. アセスメントに役立つ視点となる人間の反応についてその概要を説明出来る 2. 概念学習によって状況把握の力が育成され、効果的な情報収集ができる 3. 既習の知識を事例検討に活用できる		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護師のように考えるということ	講義	有	東條
2	コンセプト・ベースド・ラーニング　グループ学習①	演習	有	担当教員
3	②	演習	無	担当教員
4	③	演習	無	担当教員
5	④	演習	無	担当教員
6	⑤	演習	無	担当教員
7	コンセプトのグループ学習プレゼンテーション①	演習	無	担当教員
8	②	演習	無	担当教員
9	③	演習	無	担当教員
10	コンセプトを使用したシナリオ学習①	演習	無	担当教員
11	②	演習	無	担当教員
12	③	演習	無	担当教員
13	④	演習	無	担当教員
14	シナリオ事例の解説①	演習	有	東條
15	②	演習	有	東條

〈　評　　価　〉

コンセプト学習の成果としての資料とプレゼンテーション、シナリオ学習のパフォーマンスを評価

〈　テキスト　〉

・坂井建雄：系統看護学講座専門基礎分野人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版], 医学書院.

・医療情報科学研究所(編)岡庭豊(発行)：看護が見える vol. 4 看護過程の展開第1版, ﾒﾃﾞｨｯｸﾒﾃﾞｨｱ, 364p, 2020.

・香春知永：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[4]　臨床看護総論[電子版], 医学書院.

専門基礎分野	授業科目	クリティカルシンキングと臨床判断の実践	2年次前期･後期 1単位　30時間
科目担当責任者	和田　裕子		
科目目標 概　　要	対象の健康上の課題を解決するには変化する臨床状況に合わせて看護を展開する能力が必要である。 この科目では、看護場面の気づきを通した解釈を繰り返し実施し、臨床判断のプロセスを学ぶことをねらいとする。 1. クリティカルシンキングの概念と臨床判断のプロセスについて説明できる。 2. 臨床判断能力のプロセスをふまえ、対象に応じた気づきや解釈を表現することができる。 3. 協働学習を通して、経験値を高め、看護の視点や思考を広げることができる。 4. 分からないことや曖昧な点を明確にして、それを確かめる態度を修得できる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護過程と構成要素　それぞれの関係性	講義	有	和田
2	臨床判断と臨床推論 1）臨床判断プロセス	講義	有	和田
3	気づくトレーニング（看護場面） ①　気づき・解釈・反応	講義・演習	有	和田
4	気づくトレーニング（看護場面） ②　気づき・解釈・反応	講義・演習	有	和田
5	気づくトレーニング（看護場面） ③　気づき・解釈・反応	講義・演習	有	和田
6	気づくトレーニング（看護場面） ④　気づき・解釈・反応	講義・演習	有	和田
7	気づくトレーニング（看護場面） ⑤　気づき・解釈・反応	講義・演習	有	和田
8･9	周手術期患者の看護実践①	演習	有	和田
10･11	周手術期患者の看護実践②	演習	有	和田
12･13	看護場面の臨床判断①	講義・演習	有	和田
14･15	看護場面の臨床判断②	演習	有	和田

〈　評　　価　〉

確認テストおよびリフレクションシート

〈　テキスト　〉

･茂野香おる他：系統看護学講座基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ[電子版],医学書院.

･香春知永他：系統看護学講座基礎看護学[4]臨床看護総論[電子版],医学書院.

･医療情報科学研究所(編)岡庭豊(発行)：看護が見える vol.4 看護過程の展開第 1 版,ﾒﾃﾞｨｯｸﾒﾃﾞｨｱ, 364p, 2020.

専門基礎分野	授業科目	看護の生理学	3年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	ナイチンゲール思想を基盤とした、回復過程促進をめざす病気をみつめる看護の視点を理解することをねらいとする。 目標1 看護の視点で病気をみつめる意義と視点を理解する。 目標 2 正常な構造･機能をふまえたうえで異常と生活への影響を考察し、看護に繋げるみつめ方を理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護の視点で病気をみつめるとはどういうことか	講義	有	槙
2	人間の生命力と回復システム	講義	有	槙
3	看護の原理とナイチンゲール	講義	有	槙
4	看護の視点で病気をみつめる思考過程	講義	有	槙
5	人間が備える回復システムへの着目	講義	有	槙
6	ナイチンゲール思想を基盤とした看護の目的論（KOMI ケア理論から）	講義	有	槙
7	ナイチンゲール思想を基盤とした看護の対象論（KOMI ケア理論から）	講義	有	槙
8	まとめ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		槙

〈　評　　価　〉

レポート・学習態度等を総合評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

･金井一薫：実践を創る新看護学原論, 第1版, 東京, 現代社, 280p, 2012.

･金井一薫：新版ナイチンゲール看護論･入門, 第1版, 東京, 現代社, 277p, 2019.

･F. ナイチンゲール：看護覚え書-看護であること･看護でないこと-, 第7版, 東京, 現代社, 308p, 2011.

その他、医学書院電子テキスト

専門基礎分野	授業科目	社会保障と社会福祉Ⅰ	2年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	吉田　修大		
科目目標 概　　要	1. 社会福祉の考え方、わが国の社会福祉の歴史、現行の社会福祉の現状を学ぶ。 2. 社会保障や社会福祉の制度を知り、生活者の視点を重視しながら看護職の役割を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 社会保障制度と社会福祉 1)社会保障制度	講義	有	吉田
2	2)社会福祉の法制度 2. 社会保障・社会福祉の動向	講義	有	吉田
3	3. 医療保障制度 1)医療保険制度の概要 2)保険者と対象者 3)給付と患者負担	講義	有	吉田
4	2)高齢者医療制度 1)制度創設の経緯と目的 2)後期高齢者医療制度	講義	有	吉田
5	4. 介護保障 1)保険者、被保険者 2)要介護認定	講義	有	吉田
6	3)保険給付 ①施設サービス・居宅サービス ②その他のサービス・介護予防支援	講義	有	吉田
7	1. 所得保障 1)所得保障・年金保険制度 2. 公的扶助 1)生活保護制度	講義	有	吉田
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・福田素生：系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉[電子版], 医学書院.

〈　参考文献　〉必要時、コピーにて配布

・厚生労働統計協会:国民の福祉と介護の動向, 2022/2023, 厚生労働統計協会, 2022

・ミネルヴァ書房編集編：社会福祉小六法 2021〔令和4年版〕, ミネルヴァ書房編集部, 2022.

専門基礎分野	授業科目	社会保障と社会福祉Ⅱ	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	吉田　修大		
科目目標 概　　要	1. 人間のライフサイクルに沿った保健医療福祉サービスの展開を学ぶ。 2. 対象の多様なニーズに応えるため、保健・医療福祉の連携の実際を学び、看護職と福祉職とが協働できるための基礎知識を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 社会福祉の分野とサービス 1) 高齢者福祉	講義	有	吉田
2	2) 障害者福祉（障害者基本法、障害者総合福祉法）	講義	有	吉田
3	3) 児童家庭福祉（児童福祉法、こどもの人権と貧困対策） 4) その他の福祉（ＤＶ防止法、生活保護法）	講義	有	吉田
4	2. 社会福祉実践と医療･看護 1) 個別援助技術（ケースワーク） ①生活支援のための展開過程	講義	有	吉田
5	2) 集団援助技術（グループワーク） ①「生活支援のための集団援助技術	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾜｰｸ	有	吉田
6	3) 連携の重要性 ①医療提供システムの変化と新たな連携の課題	講義	有	吉田
7	4) 社会福祉実践と医療・看護との実践 ①医療ソーシャルワーカーとは、業務の範囲 ②地域包括ケアシステムにおける他機関との連携	講義	有	吉田
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・福田素生：系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉[電子版], 医学書院.

〈　参考文献　〉必要時、コピーにて配布

・厚生労働統計協会:国民の福祉と介護の動向, 2022/2023, 厚生労働統計協会, 2022

・ミネルヴァ書房編集編：社会福祉小六法 2021〔令和４年版〕, ミネルヴァ書房編集部, 2022.

専門基礎分野	授業科目	公衆衛生学	3年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	大西　浩文　　樋室　伸顕　　大浦　麻絵　　小山　雅之		
科目目標 概　　要	個人や集団の健康管理に必要な知識の獲得および保健、福祉の連携のために実施されている公衆衛生活動の実態と動向を知り、その役割について考える。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	公衆衛生とは	講義	有	大西
2	健康の指標 1)人口統計	講義	有	大西
3	生活環境の保全 1)生活環境の安全 2)ごみ廃棄物処理	講義	有	大浦
4	健康教育とヘルスプロモーション 1)健康教育とヘルスプロモーションの定義 2)ヘルスプロモーションのすすめ方と今後の展開 3)具体例	講義	有	大浦
5	街改革プロジェクト	講義	有	大浦
6	産業保健 1)現代日本の労働と健康問題の動向精神保健福祉 2)これからの公衆衛生	講義	有	小山
7	精神保健福祉 1)精神保健福祉制度 2)うつ病と職場のメンタルヘルス	講義	有	小山
8	健康と環境、疫学的方法	講義	有	樋室
9	感染症とその予防 1)感染症の動向と主要な感染症 食品保健と栄養	講義	有	樋室
10	地域保健活動（ヘルスサービスの構造） 1)医療サービスの供給体制	講義	有	樋室
11	生活習慣病 1)悪性新生物　2)脳血管疾患　3)心疾患　4)その他	講義	有	大西
12	難病対策 1)スモン　2)難病法と難病の医療体制	講義	有	大西
13	医療･介護保険制度	講義	有	小山
14	母子保健、母子保健活動の実際	講義	有	小山
15	試験			

〈　評　　価　〉筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･清水忠彦、佐藤拓代編：わかりやすい公衆衛生学, 第4版, 東京, ヌーベルヒロカワ, 277p, 2015.

･厚生労働統計協会:国民衛生の動向 厚生の指標 増刊 2022/2023, 厚生労働統計協会, 2022.

専門基礎分野	授業科目	関係法規	3年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	小林　秀高　　戸田　悦子		
科目目標 概　　要	国民の健康や生命を守る看護専門職としての活動を、わが国の保健医療に関する各種法規を通して理解し、看護師の役割と法的責任について学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 法の概念 1) 法の種類(憲法･法律･政令･布令･省令他)	講義	有	小林
2	2. 医療従事者に関する法律 1) 保健師助産師看護師法	講義	有	戸田
3	2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	有	戸田
4	3) 医師法	講義	有	小林
5	3. 医療に関する法律 1) 医療法　2) 臓器移植に関する法律	講義	有	小林
6	4. 公衆衛生に関する法律 1) 地域保健法　2) 健康増進法	講義	有	小林
7	5. 医療・福祉に関する法律 1) 健康保険法　2) 国民健康保険法	講義	有	小林
8	3) 国民年金法	講義	有	小林
9	4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	講義	有	小林
10	5) 個別的な福祉法	講義	有	小林
11	6. 薬務に関する法律 1) 医療品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 2) 麻薬及び向精神薬取締法	講義	有	小林
12	7. 働く人のための法律 1) 労働基準法 2) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律	講義	有	小林
13	3) 雇用分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 4) 男女共同参画社会基本法	講義	有	小林
14	8. 看護師と法的責任①②医療過誤と法的責任･看護師法的責任	講義	有	小林
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。小林講師担当分8割　戸田講師担当分2割

〈　テキストおよび参考文献　〉

･野崎和義･柳井圭子:看護のための法学　自律的･主体的看護をめざして, 第5版, 東京, ミネルヴァ書房, 208p, 2021.

専門基礎分野	授業科目	医療安全	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	山口　理恵		
科目目標 概　　要	1. 専門分野で身につけた看護技術を専門基礎分野で学んだ知識と統合し、看護実践の場で不可欠な安全の視点から系統的に理解することを目指す。 2. 看護事故の構造を理解することで新人看護師として求められる医療安全の具体的な知識を獲得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	医療安全を学ぶことのたいせつさ	講義	有	山口
2	インシデントレポート記載内容 リスクカンファレンスとは	講義 演習	有	山口
3	事故防止の考え方を学ぶ 　医療事故と看護業務、看護事故の構造、	講義	有	看護師
4	業務領域を超えて共通する間違いと発生要因 　医療安全とコミュニケーション	講義	有	看護師
5	組織的な安全管理体制への取り組みと我が国の医療安全対策への展望	講義	有	看護師
6	看護師の労働安全衛生上の事故防止 職業感染への予防策、抗がん剤の暴露防止、放射線被爆	講義	無	鎌塚
7	医療機器の安全使用 　注射業務に用いる機器の事故防止 (輸液ポンプ・シリンジポンプ)	講義 演習	無	白川
8	試験	筆記試験		

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。　山口：30点のうち10点提出物、羽下：50点、鎌塚：20点

〈　テキストおよび参考文献　〉

・川村治子：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践2 医療安全[電子版],医学書院.

専門基礎分野	授業科目	総合医療論	3年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	岩木　宏之		
科目目標 概　　要	医療・保健の現状を学び、現場で問われている課題や社会が医療に期待するものについて理解する。高度の医療技術による人々の生活への影響を考える。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	医療と看護の原点-病と癒し- 1)命について考える 2)健康とは 3)チーム医療とマネジメント	講義	無	岩木
2	医療の歩みと医療観の変遷 1)現代医学の起源 2)医療観の移り変わり	講義	無	岩木
3	私たちの生活と健康 1)医療体制(診療所と病院) 2)ノーマライゼーションとインクルージョン	講義	無	岩木
4	科学技術の進歩と現代医療の最前線 1)がん診療最前線、移植医療、人工臓器、対外受精、再生医療	講義	無	岩木
5	現代医療の新しい課題 1)薬の副作用 2)生命倫理学 3)産業社会の発展と地球環境問題	講義	無	岩木
6	医療を見つめなおす新しい視点 1)臨床疫学　2)患者の安全 3)医療の管理評価 4)情報化社会と医療	講義	無	岩木
7	保健･医療･福祉の潮流 1)新時代の保健・医療の担い手 2)ﾌﾟﾗｲﾏﾘｹｱ・保健･医療･福祉システムと地域住民の役割	講義	無	岩木
8	課題に基づくレポート作成			

〈　評　　価　〉

レポート･学習態度で総合的に評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

･小泉俊三他：系統看護学講座 別巻 総合医療論[電子版],医学書院.